

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	保健センター施設整備事業			会計	款	項	目	大	小	
				01	04	01	01	10	53	
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	健康増進課					
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり		主管課長	伊原 理香					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	保健センター	意図	保健衛生活動の拠点となる保健センターの施設整備を図る。
事業内容	保健・医療の拠点としての機能を担う保健センター施設（昭和62年3月竣工）の長寿命化、利便性向上を図るため、計画的に改修工事を実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	後期基本計画に沿って設備改修を行ってきた。 平成22年度は、アスベストの撤去工事を行った。 平成23年度は、ESCO事業として空調設備の更新を行った。 平成26年度は、屋上防水工事を行った。 平成29年度は、外壁調査及び改修工事設計業務、3階女子トイレ改修工事を行った。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	3階女子トイレ改修				1 件	→→	
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 妊娠・出産・子育てサポート事業の実施に伴い、3階女子トイレの洋式化改修工事を実施し、利用者の利便性向上が図られた。	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)				4,467,920				
事業費(b)(円)				3,125,520				
うち一般財源				3,125,520				
職員給与費(c)(円)				1,342,400				
人役・職員(人)				0.20				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	大規模の修繕・工事については、今後も適切な予算計上を行い計画に基づき実施し、施設の長寿命化を図る。	③取組の課題	施設の長寿命化と利便性向上を図るため、計画的な改修が必要となっている。改修工事の実施の際は、保健センター事業が支障なく行われるよう調整する必要がある。
②今年度(H29)に実施した取組	外壁調査及び改修工事設計業務を実施した。妊娠・出産・子育てサポート事業の実施に伴い、3階女子トイレの洋式化改修工事を実施した。	④今後(H30以降)の改善計画	駐車場整備、外壁改修、受変電設備更新などの改修工事を計画的に実施し、施設の長寿命化と利便性向上を図る。